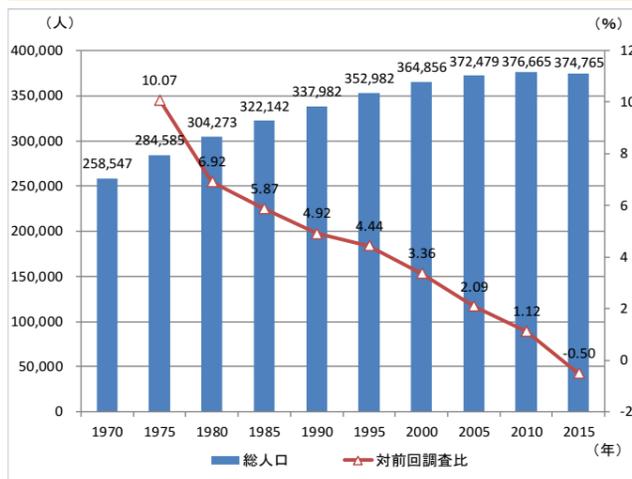


豊橋市の人口動向（令和2年3月現在）

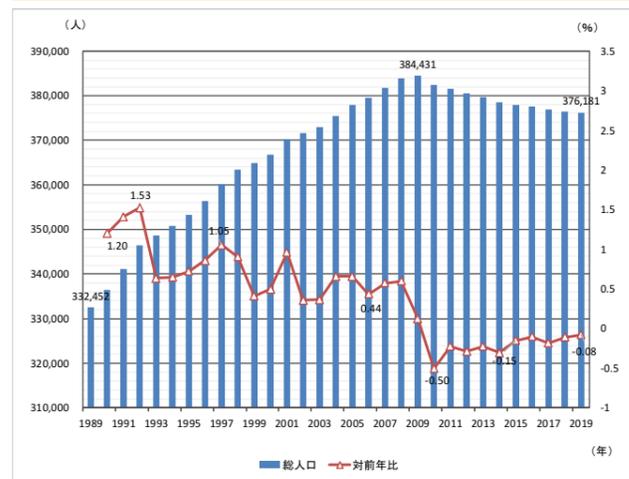
○豊橋市人口ビジョン並びに第1期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しを行うにあたり、2015年国勢調査結果等から、豊橋市における人口の動向を分析した。

人口の現状分析

①人口の推移



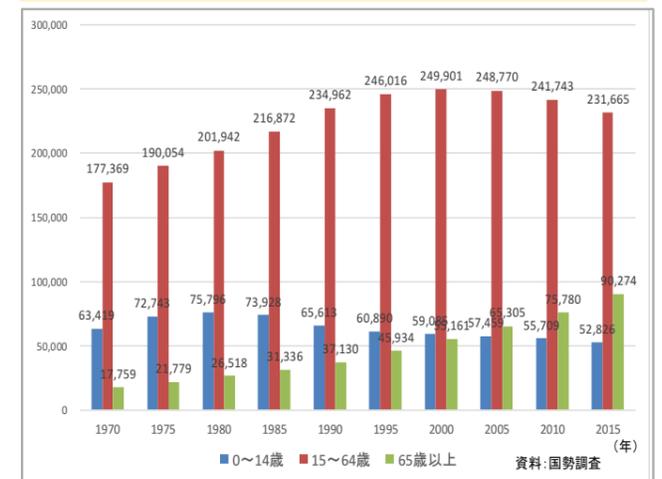
②人口の推移（住民基本台帳）



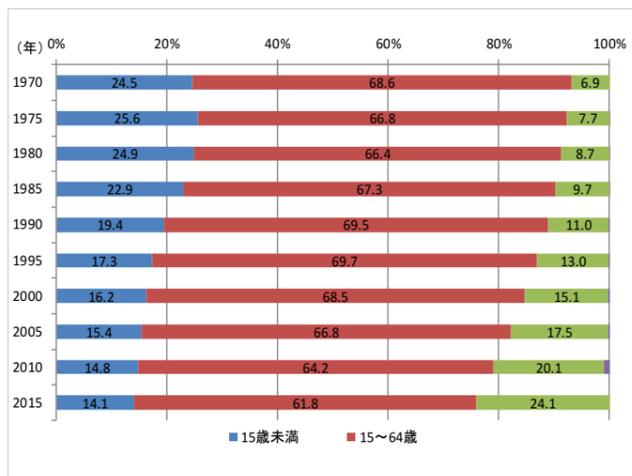
③人口増減数の推移（住民基本台帳）



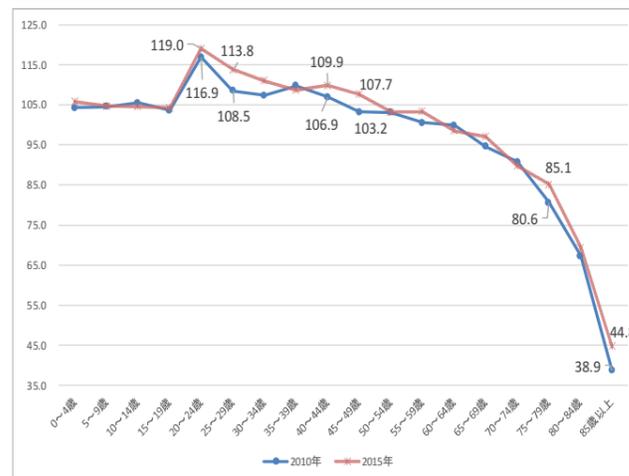
④年齢3区分別人口の推移



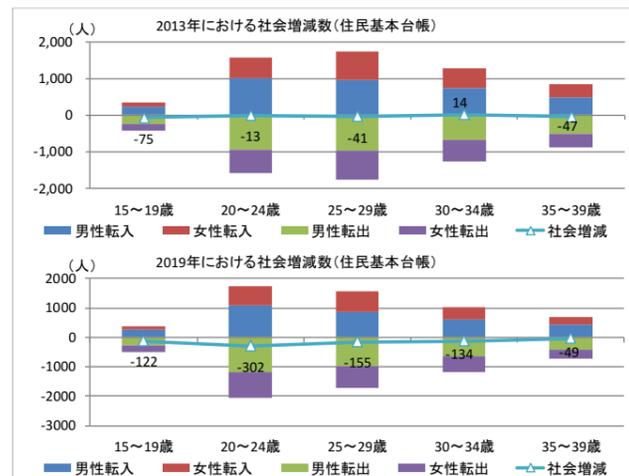
⑤年齢3区分別人口構成比の推移



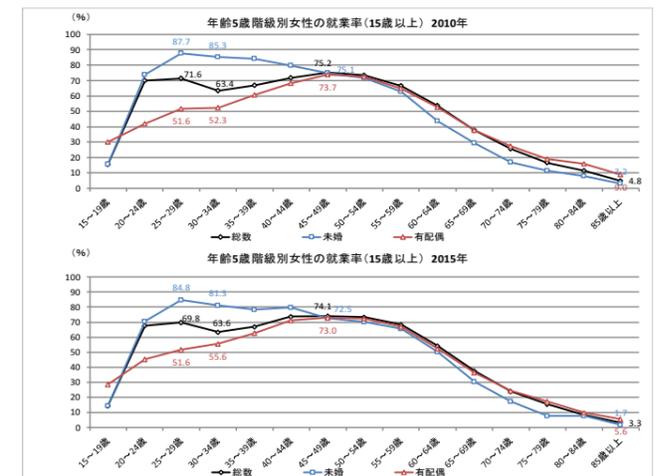
⑥年齢5歳階級別性比



⑦社会増減数（住民基本台帳_日本人のみ）



⑧年齢5歳階級別女性の就業率



※国勢調査以外から出典しているものは表題に統計種類を記載

- 市全体の人口は微減している。【①及び②】
- 人口の自然減数の幅が増している。社会増減数も2016年まではマイナスだったが、2017年からは外国人の転入数の増加によりプラスに転じている。【③】
- 年少人口（0~14歳）及び生産年齢人口（15~64歳）は減少を続けている。一方で高齢人口（65歳以上）は増加し続けている。【④及び⑤】
- 年齢5歳階級別性比は2010年と2015年でほぼ同様のグラフを描いているが、25~34歳、40~49歳の階級は5年間で男女比の偏りが大きくなっている。【⑥】
- 日本人の社会増減数を2013年と2019年で比較すると、特に20~34歳の若年層の減数が大きくなっている。【⑦】
- 年齢5歳階級別女性の就業率を2010年と2015年で比較すると、女性総数における就業率に大きな変化はないが、未婚女性の就業率が減少する一方で、有配偶の女性の就業率が増加している。【⑧】